

<b>令和3年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	文化産業観光部文化振興課
<b>施設名称</b>	5	東京都台東区立一葉記念館	<b>指定管理者</b>	公益財団法人台東区芸術文化財団
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	R2.4.1    ~    R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 樋口一葉は、龍泉寺町に住み、その体験を基に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区竜泉3-18-4 [規模] 延べ床面積861.04㎡ RC造 地上3階地下1階 屋階 研修室、倉庫、エントランスギャラリー、事務室、展示室、収蔵庫、設備室など
(3)	[委託事業] 樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備の保全、調達。施設使用料徴収など。 [自主事業] 施設特別展「コレクション展-描かれた一葉と作品世界」、一葉祭（作品展示、ボランティアと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり）、朗読サロン（Youtube公開）
(4)	[利用者] 全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 休館日(月曜日、年末年始、特別整理期間等)を除く。 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
(6)	[人員体制] 6名 (内 訳) 常勤固有職員(1)  研究員(1)  派遣職員(1)  専門員(1)  特例嘱託員(1)  再任用(1)  (前年増減) 増減なし(会計年度任用職員1名減、再任用職員1名増)

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料(指定管理料)	17,270,000	15,277,034	17,714,000	15,288,601
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入( )	0	0	0	0
	計	17,270,000	15,277,034	17,714,000	15,288,601
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	4,617,000	4,616,102	5,022,000	4,208,250
	維持管理費(委託料・賃借料)	9,550,000	8,643,611	10,480,000	9,579,510
	修繕費	415,000	318,272	300,000	214,000
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(印刷製本費等)	2,688,000	1,699,049	1,912,000	1,286,841
	計	17,270,000	15,277,034	17,714,000	15,288,601
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
開館日数	日	293	296	264	148

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
入館者数	人	4,820	14,317	12,242	2,772

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
新型コロナウイルス感染症拡大により、入館者の増に直接つながる取組みは実施できず、特別講座の公開朗読は中止としたが、朗読音声及び書籍誌面映像による動画を3作品制作し、YouTubeに公開した。	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	令和元年度の管理で指摘のあった寄贈品の管理や防災対応についても、必要な事項について区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	区と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業の中止や施設の臨時休館に対応した。事業計画書に予定された講演会等の事業は概ね中止となってしまったが、代替として朗読を中心に動画配信を積極的に行った。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	施設設備の故障について、区への連絡が遅れたり必要な対応が十分にとれず、復旧に時間を要した事例があった。区と指定管理者の役割分担を再確認する必要がある。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	公開朗読を中止し、朗読音声及び書籍誌面映像による動画3作品をYoutubeに公開し、コロナ禍における来館者向けサービスに取り組んだ。今後は感染症対策を図りながら、来館者の声を取り入れるための工夫が必要である。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	自主事業収入が大幅に減少する中、グッズの新規作成中止や光熱水費の節約など、状況に応じた経費縮減が見られたが、管理経費支出の縮減等をさらに工夫する必要がある。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
3 点	コロナ禍において来館したくてもできない方たちのために動画を作成、WEB上に公開し、アフターコロナにおける入館者増に備えた。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 94 / 110点)	<p>【所見】 新型コロナウイルス感染拡大により、入館者数は大幅に減少したが、コロナ禍において、朗読音声や書籍誌面の動画配信を活用した利用者向けサービスに取り組んだ。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 設備の保守管理について、区との連携が不十分で復旧に時間を要した事例があった。また今後は、感染症対策を図りながら、来館者の声を取り入れていく必要がある。</p>